支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）　令和８年度

事業所名	**ぐりーん橿原支店**		**作成日**	令和８年10月４日
法人（事業所）理念	**自己実現を通じて人々を幸せに**			
支援方針	私たちは自己実現理論にもとづき、人は自己実現に向かって成長し続ける存在であると考え、組織の存在目的を「人々の自己実現の達成を支援する」ことと定めています。1日の定員10名の少人数制のもと、お子さま一人ひとりの個別支援計画にもとづき、5領域（健康・生活／運動・感覚／認知・行動／言語・コミュニケーション／人間関係・社会性）を総合的に支援します。			
営業時間	平日　12:00〜18:00（サービス提供は13:00から） 土日祝・長期休暇　10:00〜17:00 ※年末年始（12/30〜1/5）および年度ごとに定める臨時休業日は休業		**送迎実施の有無**	あり
本人支援	**健康・生活**	来所時の体調確認や手洗い・うがい、食事・排泄・着替え・片付けなど身の回りのことを、お子さまのペースに合わせて練習します。生活リズムや睡眠・食事についてはご家庭と情報を共有しながら、基本的な生活習慣と健康な体づくりを支援します。生活自立プログラムでは、年齢に応じて買い物や時間の管理など、将来の自立や「はたらく準備」につながる力を育てます。		
	運動・感覚	運動あそびや感覚あそびを通して、筋力や姿勢を保つバランス力、体の動かし方（ボディイメージ）を育てます。ボルダリング壁や跳び箱のある運動ルームも活用します。苦手意識を持たせないよう、お子さまと大人が楽しみながら取り組める活動を工夫し、感覚の過敏さや鈍さなど困りごとの背景に配慮した支援を行います。		
	認知・行動	記憶・注意・言語理解・判断などの力を、学習・宿題支援やプログラム教材を用いて段階的に高めます。見通しを持って行動できるよう、スケジュールや手順を視覚的に示し、行動の背景を考えたうえで、望ましい行動を身に付けられるよう支援します。		
	言語・コミュニケーション	ことば・コミュニケーションのプログラム教材を用いて、ことばの理解と表出、気持ちを伝える力を段階的に育てます。ことばだけでなく絵カードなどの視覚的な手がかりも活用し、要求や気持ちを周りの人に伝える力を支援します。		
	人間関係・社会性	少人数の集団活動やあそびを通して、順番を待つ、相手の気持ちを考える、友だちとかかわるといったソーシャルスキルを身に付けます。園や学校など、お子さまが過ごす集団の中で求められるふるまいを、日常生活の経験だけでは学びにくい場面も含めて練習します。		
家族支援	保護者さまとの面談や送迎時のやり取りを通じて、お子さまの様子やご家庭での関わり方を共有します。子育ての困りごとのご相談に応じ、ご家庭で取り組める効果的な対応方法を一緒に考え、保護者さまの負担が軽くなるよう支援します。		**移行支援**	保育所・幼稚園・学校など、福祉サービス以外の集団生活の様子を把握し、関係機関と情報を共有しながら、お子さまが地域の集団の中で過ごせるよう支援します。就学・進学や卒業後の進路など、ライフステージの節目に合わせた移行を支援します。
地域支援・地域連携	相談支援事業所や保育所・幼稚園・学校などの関係機関と連携し、担当者会議などを通じて支援の方向性を共有します。地域の遊び場への外出や行事への参加を通じて、お子さまが地域の中で過ごす経験を広げます。		**職員の質の向上**	月１回の動画研修と個別支援会議、安全計画にもとづく各種研修、入職時研修（虐待防止・感染症対策）を実施しています。保育士資格の取得や強度行動障害支援者養成研修、児童発達支援管理責任者研修の受講を支援し、職員が継続して成長できるよう資質の向上に努めています。
主な行事等	地域の遊び場への外出活動やイベントへの参加、誕生日のお祝い、クリスマス会などの季節の行事を行います。動物とのふれあい活動（保護者さまの同意制）も実施しています。また、緊急時の避難訓練や交通安全指導を定期的に実施します。			